
Daath

たけのここはん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Death

【Nコード】

N3316BA

【作者名】

たけのこごほん

【あらすじ】

2xxx年

世界の頂点に、絶対的な権力を持つ「デウス」という存在が現れる。

デウスは強引な独裁政治を繰り広げ、初めこそは人々からの非難も多かった。

だがじきにそれもなくなった。

デウスに逆らった人々は、皆死んだのだ。

デウスが現れてから時は流れ、誰一人デウスには逆らおうとしなく

なった。

それが一番、幸せに生きられる方法だと人々は悟り始めたからだ。犯罪を犯す者は急激に減少、表向きは平和な世の中が展開されていた。

しかし……

まるで、デウスの操り人形のようになってしまった人々。

機械のように命令に従いただ存在し、そして保証された幸せだけに満足する日々。

それは生きているからこそ追い求められる自由ではなく、生かされるからこそ手に入れなければならないという使命。

人々の心は驚くほど廃れていった。

そんな状況を見兼ねたデウスは、人々に新たな娯楽を与えた。

味わったことのないスリルと興奮、同じことの繰り返しを生きる人々にとって、それは最高の楽しみとなる。

“データ D a a t h ”

学生、犯罪者、教師、聖職者 ……

職業も年齢も関係ない。

ゲームの対象者は、世界で最も不幸なあなた。別サイトの重複投稿です。

Opening

「さあさあさあ、やってまいりました！ お待ちかねの遊戯のお時間、泣く子も唾う鬪人ゲーム“ダウトDaath”！」

ルールは至ってシンプル、勝てばそれでよし！

最後の一人には、栄光と、願いを一つ、叶えて差し上げます！」

興奮気味の司会者が、黒く光るマイクに向かって汗と唾を飛ばすように叫ぶ。

巻き起こる歓声、そして昂る人々をより高ぶらせるように照らす無数のライト。

叫ぶ司会者と騒ぐ人々が注目するその中央には、二人の人物がいた。彼らの表情は険しい。

何かを話し合っているようだ。

その光景を見る人々からは嘲笑が起こり、晒し者にされている二人は、突然駆け出す。

鋭い音が鳴り響くと同時に、人々の歓声が沸き起こった。

二人の中の一人が、頭から真紅を流し地面に倒れる。

パァン、ともう一つ。

Daath、それは【デウス】にとって最高の娯楽。

Daath、それは人々にとって最高の楽しみ。

Daath、それは【ピース】たちにとって最悪の、悲劇。

Daathではいけないこと、それは「ルール違反」。

裏切り、略奪、何でもアリであるこのゲームにも、絶対のルールが存在する。

“ 闘わないのなら死ね ”

“ 自分以外は敵だ ”

“ xゲームを拒むな！ ”

D a a t h、それは、

Opening(後書き)

正直やっしまった感が否めませんが見てくださるお方はコレから宜しく御願します。あんさんは神様や！

序盤の雰囲気でもう駄目だと感じた方は×ボタンを連打する事を推奨します。

用語解説（前書き）

作中に出てくる用語の解説です。

用語解説

【用語解説】

アンダーテイカー

ピース（下記参照）がルール違反をしてないか監視する。ピースの精神・肉体的な管理も彼らの役目。ルールを破ったピースに死を与えるのもアンダーテイカーの役目。アンダーテイカーに選ばれる人間は戦闘のプロである（異能の力はない）。

ヴィエ・マルシエ

Daath（下記参照）が行われる場所の事。ピースたちはDaathが終わるまでヴィエ・マルシエを出られない。何台もの監視カメラが設置されていてその映像が画面に映し出される。

異能の力が通じない素材（デウス作成）で守られた客席からの観戦も可能。

司会や解説は常にここで実況している。

【ヴィエ・マルシエとは、ジャンヌダルクが処刑（＝死んだ）広場の名前（ジャンヌ＝聖女） 異能者は神の使い】

データ
Daath

デウスが人々の娯楽のために作ったゲーム。

ピース（下記参照）に選ばれた人間がただひたすらに戦いあうという内容。

勝利条件・ゲーム終了条件は至ってシンプル。

勝ち残ること、ただそれだけ。

身を守るためなら、人を傷つけてもよい。

物を奪つてもよい。

人を欺いて裏切つてもよい。

そして、勝利するためなら殺人を行なつても良い。
勝利した者は、願いを一つ叶えてもらえるそうだ。

Deathのルール

- ・戦わなければDeath
- ・敗者に行われるxゲームを拒んではならない
- ・脱走を図ってはならない
- ・尚、ルールを破つた者に与えられるものは、Death

デウス

Deathの主催者。

その姿は未だ謎に包まれており、性別は愚か年齢さえも不明。
今の世界を独裁政治によつて治めている。

異能者≡神の使いといわれた時代に生きていたらしい。

Deathを開催した本当の理由は、異能者削減にあるかもしれない。
い。

しかし、Deathが行われる場所をヴィエ・マルシェと名付ける
辺り、異能者を神の使いと認めている部分も多少はあるのだろう。
現在のデウスは以前のデウスとは無関係らしい。

【ピース（異能者）が大量に死する（≡処刑）場所≡Deathが行われるヴィエ・マルシェ（ヴィエ・マルシェ【参照】）】

ピース

Deathに参加するため強制的にヴィエ・マルシェ（上記参照）
へと連れてこられた、「世界で最も不幸なあなた」

職業や年齢はバラバラだが、『異能の力』という共通点がある。
選ばれる際、ナンバーと目印のタトゥーが体に刻まれる。

目印はチェスの駒に（被らないように）本人の好きなものや本人を

あらわすものを絡めたもの。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3316ba/>

Daath

2012年1月14日14時47分発行